

#仙台ただいま 転勤中

11 住み続けられる
まちづくりを



8 働きがいも
経済成長も



13 気候変動に
具体的な対策を



4 質の高い教育を
みんなに



チーム「仙ただ」

メンバー：丹野裕太・泉澤千尋
菅野修吾・根本かほり・星川智洋
バタライ マニ プラサド・山田うみ

メンバー紹介

1. 名前
2. 出身地
3. 仙台在住歴
4. 所属
5. 私は仙台のここが好き！



1. 丹野裕太
2. 宮城県大崎市鹿島台
3. 7年目
4. 河北新報社
5. 米どころ東北の中心として美味しいお酒が気軽に飲めるところ！

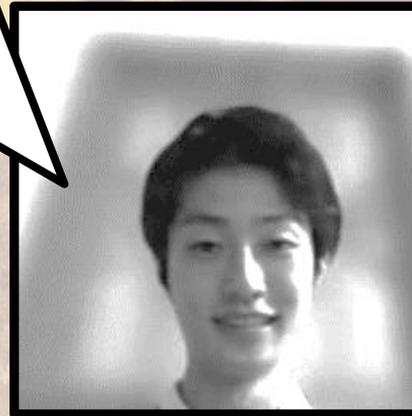


1. 泉澤千尋
2. 新潟県新潟市
3. 4年目
4. 会社員(5年目)
5. 多種多様な人と出会えて、人柄も良いところ



1. 根本かほり
2. 仙台市
3. 29年間
4. 会社員
社会人7年目
5. すべてがちょうど良いところ

1. 菅野修吾
2. 宮城県仙台市泉区
3. 22年
4. 東北大学
5. 程よく都会で気温もちょうどよくて住みやすいところ！





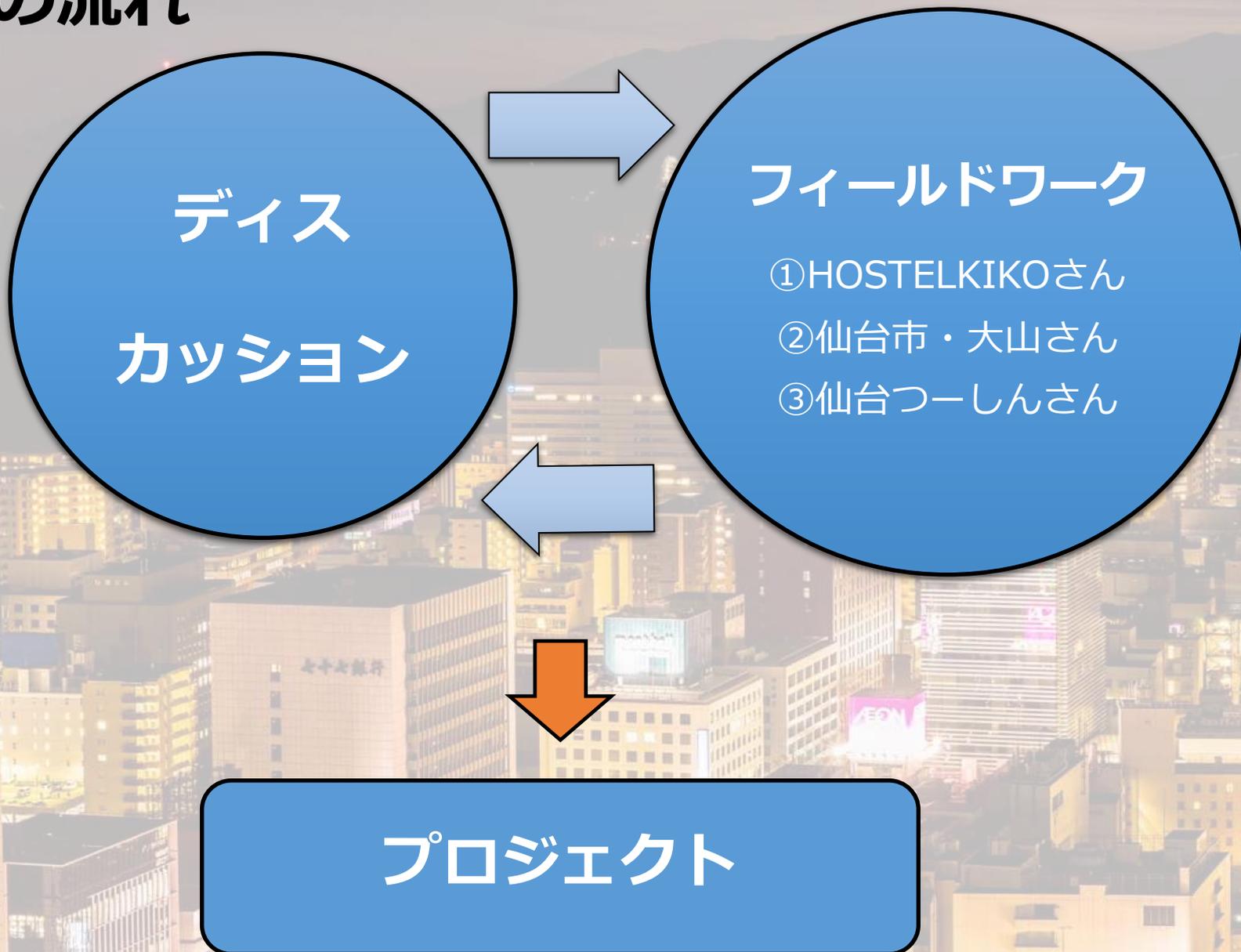
- 1.山田うみ
- 2.仙台市
- 3.20年
- 4.東北学院大学
- 5.交通手段に困らず、緑が多いところ



- 1.星川智洋
- 2.山形県
大石田町
- 3.11年
- 4.ミヤックス
- 5.ちょうどいい
サイズ感！
少し行けば
繁華街、温泉、
自然、お店！

1. バタライ マニ プラサド
2. ネパール
3. 11年
4. 遠田郡美里にある
商社の営業マン
5. コンパクトでなんでもある町、
交通便利な所

取組の流れ



ディスカッション 1

どんな街になればいいか（ゴール設定）
→自慢ができる街・楽しめる街・飽きない街

**課題感：地域に人が定着しない
コミュニケーション不足**



「人と人の繋がりを強固に」

をテーマとして進める

▶1回目フィールドワーク

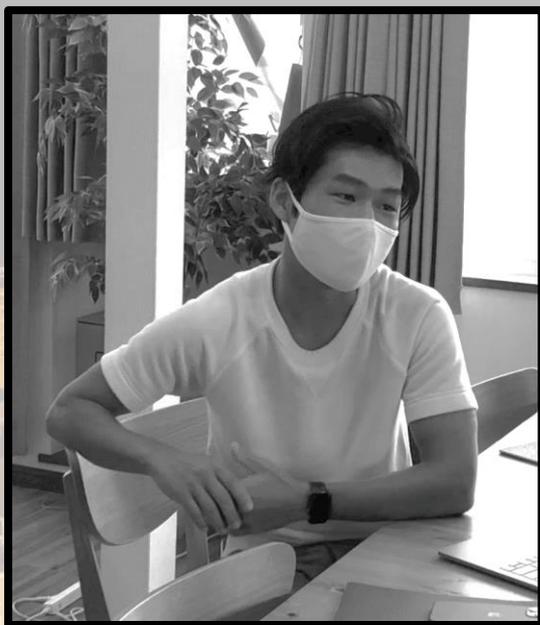
- ・人が集まる好例地区で成功事例をヒアリングしたい
- ・地域と若者が結びついているところ

→場所：**HOSTEL KIKOさん**（ゲストハウス）

フィールドワーク1

取材先

「HOSTEL KIKO」若林区荒町
管理人：勝水与茶さん、田村溪一郎さん



目的

地域を巻き込んだコミュニティづくり、
人が集まる・また来る場所作りについて話を伺いたい

フィールドワーク1

思い出が詰まった
『特別な場所』
→また来てくれる



取材を通して

- ・ 管理人・企画者が着飾らない
→主催者が楽しむ
→ありのままに接すること
→リピーター・ファンづくりにつながり新しい人を呼び込む好循環になっている
- ・ 地域にこまめに顔を出し共に企画を作り上げ
→信頼関係を構築している

ディスカッション2

テーマ：
「人と人の繋がりを強固に」

“**転勤者**”をターゲットに設定

：人との繋がりが新たに作りづらい
仙台は転勤者が多く、定着しづらい
学生に比べ知り合うきっかけが少ない

課題

：地域からの情報発信がうまくできていない
転勤者が情報を受信できていない

転勤者向けの情報発信
人との繋がりをSNS上で作る→リアルイベント開催

フィールドワーク2

取材先

転勤族プロジェクト運用

転勤族チーム代表：大山宗之さん（仙台市職員）

※当時は民間企業に属しながら活動（現在は転職して仙台市役所勤務）



目的

転勤族の特徴や課題感、企画アプローチの方法

フィールドワーク2

取材を通して

WE__SCHOOL (第1期生)

・仙台市主催「超市民参加型まちづくり」

※West meets Eastで「We」

→受講生から、転勤族チームを結成

・仙台市人口：106.5万人

・年間転入者数：13万人 参照：宮城県震災復興・企画部統計課

→人口の2割～3割が、転勤族のまち

「転勤は、突然やってくる」

→不安が多い

「転勤族は、居場所を求める」

→安心感を得たい

「転勤族は、地域情報を探している」→地域になじむ

仙台初心者（学生・社会人）は**SNS上で情報を探す**

例）#春から仙台

フィールドワーク2

取材を通して

仙台初心者の見えた課題感
人口の2割～3割が、転勤族のまち
→**転勤者が繋がりを作りづらい**

×

コロナ禍でも課題を解決するには
私たち若者ができること
手段：**仙台の転勤族向けの情報発信**

ディスカッション3 ～テーマの決定～

#プロジェクト

また遊びに来てくれる
→関係人口創出
きっかけをつくりたい

共通のハッシュタグを普及させることで
通勤者のコミュニティや飲食店とのマッ
チングを行う。ハッシュタグが自走するまで
グループでSNSを運営し認知度UPを図る。



ディスカッション3 ～テーマの決定～

#プロジェクト

『#仙台ただいま転勤中』

現在を表す「**只今**」

×

帰ってくる意味を表す「**ただいま**」

仙台ただいま転勤中



いいね! : fukutsubame、他6人
sendaitadaimatenkintyuu 猫好きさんにオススメ🐱

仙台駅から徒歩で約15分

仙台市若林区新寺通り沿いにある《クロミケ堂》さん

のれんをくぐると...猫と本と美味しいものが大好きな店主さんが作り出す、温かい空間のカフェ🌟



1/2



いいね! : soara.316、他1人
sendaitadaimatenkintyuu お気に入りの仙台の風景🌄

広瀬川にかかっている広瀬橋.....ではなく、宮沢橋（みやざわばし）が見えます

広瀬川と空の青、その間にある宮沢橋の赤

ここから見える風景が、私の気に入りの仙台の風景です
@長町@河原町@相岩町

ターゲット

転勤者

・地域のルール
例) ゴミの出し方

妻

子ども

单身

新人
(若手)

外国人

・言語、文化
の違い

・家族が仙台に来たときにどこに行けばいいか

・新しい繋がり
の作り方が
分からない

- ①地方の拠点として
→早期に転勤で来る若手が多い
- ②将来、出世
→仙台に戻ってくる可能性がある
- ③单身者も多く、
→行動力がある人も相対的に多い
- ④SNS発信と親和性が高い

フィールドワーク3

取材先

仙台つーしん（情報発信サービス・物販）
佐々木安久さん



目的

SNSの活用方法・情報収集・発信・リアルイベントをやっているのかどうか・SNSでのターゲットの設定の仕方

フィールドワーク3

取材を通して

Instagramの活用方法

- ・「何の情報発信しているのか」分かるように書く
- ・自然に#を使って転勤者が繋がれるように
→「情報をください」ということを書く
- ・#を使う・アカウントをフォローする理由を作る
→相手にとってメリットが必要

重要なこと

- 読み手が欲しい情報が何かを
くみ取ってから発信する

Instagramでの自治体の成功事例(福岡市)



ディスカッション3

『3STEP設定』～今後の行動指針～

1

- # 仙台ただいま転勤中
→100投稿100人フォロワー獲得
目標期日：2022年4月

- 若者ラボ参加者・地域の飲食店などに
→協力求める



2

- イベント企画
- 会場：HOSTELKIKO予定
- 転勤者が増える 2022年4月目途

3

- # 仙台ただいま転勤中を使った企画が各地で行われるような仕組み 4月以降目途

繋がりを作るための その他企画案



飲食店認証制度

- 認証された飲食店を紹介
- 該当店で割引やプレゼントなどを企画

出身地別企画

- ご当地の食材を提供する飲食店とコラボ

ボランティアイベント

- 生活に必要なとなる知識・ルールが学べるかつ地域の人と交流できる

お裾分け文化の活用企画

- 転勤者の帰省のタイミングに合わせ各地のお土産を交換、交流する地元紹介イベント

繋がりを作るための その他企画案



飲食店認証制度

- ・ 認証された飲食店を紹介（仙ただ認証店）
コロナ対策店を認証店にする
- ・ 認証店で割引やプレゼントなどを企画
仙台ただいま転勤中でつぶやくと認証店から
プレゼントや割引が受けられる
- ・ 認証店で交流イベントを実施
→ 仙台×転勤族
→ ○○県転勤族イベントなど
- ・ 毎月○日は転勤族の日など設定し、
定期的な発信呼びかけ

ご清聴ありがとうございました



転勤中



ただいま

仙台



みなさんも「**#仙台ただいま転勤中**」をつけて
仙台の魅力をたくさん発信して下さい！